



安全データシート ESD Cleaning Wipe, PRESAT

JIS Z 7253「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準拠

1: 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名	ESD Cleaning Wipe, PRESAT
製品番号	MCC-EC00W, MCC-EC00WR
別名、商品名	PROTOTYPE 16-15-2A, PRESAT; PROTOTYPE 16-15-2B, PRESAT; PROTOTYPE 16-15-2C, PRESAT

化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途	洗浄剤。
推奨されない用途	特定の勧告用途は確認されていない。

安全データシートの供給者の詳細

供給者	MICROCARE ASIA PTE LTD 102E Pasir Panjang Road Singapore 118529 Phone (65)6271.0182
製造者	MICROCARE CORPORATION 595 John Downey Drive New Britain, CT 06051 United States of America CAGE: OATV9 Tel: +1 800-638-0125, +1 860-827-0626 Fax: +1 860-827-8105 techsupport@microcare.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	CHEMTREC +1 703-741-5970 (from anywhere in the world)
----------	---

2: 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性	区分外
健康有害性	区分外
環境有害性	区分外

GHS ラベル要素

危険有害性情報	NC 区分外
補足的なラベル情報	安全データシートは要望に応じて入手可能です。産業設備での使用のみ。

他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

ESD Cleaning Wipe, PRESAT

3: 組成及び成分情報

混合物

D.I.水 (D.I. WATER)	60-100%
CAS番号: 7732-18-5	
分類 区分外	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

組成に関する注釈 組成物の正確な割合(濃度)は、CFR 1900.1200の段落(i)に従って営業秘密として保留されている

Composition

4: 応急措置

応急措置の説明

一般情報	懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。医療関係者にこの安全データシートを見せること。
吸入	特定の推奨事項はない。喉の刺激または咳が続く場合には、以下の通りに処置すること。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。襟、ネクタイまたはベルトのような体を締め付ける衣類を緩めること。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
経口摂取	特定の推奨事項はない。喉の刺激または咳が続く場合には、以下の通りに処置すること。口をすすぐこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
皮膚接触	特定の推奨事項はない。水で洗うこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
眼接触	コンタクトレンズがあれば取り外し顔を大きく広げること。水で洗うこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	周囲の物質に適した保護具を使用すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。
吸入	特定の症状は知られていない。
経口摂取	特定の症状は知られていない。飲み込むと不快感を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	長期にわたり接触すると皮膚の乾燥を引き起こすおそれがある。
眼接触	特定の症状は知られていない。眼をわずかに刺激するおそれがある。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項	症候に基づいた処置を行うこと。
特別な治療	特別な治療は必要ない。

5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤	製品は可燃性/引火性でない。耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤または水霧で消火すること。周辺火災に適した消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

ESD Cleaning Wipe, PRESAT

化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性	知られていない。
有害燃焼副産物	熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：有害なガスまたは蒸気。
消火を行う者の保護	
消火活動中の保護措置	火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。区域から避難すること。水スプレーを使用して熱にさらされた容器を冷却すると共にリスクを伴わずに対処可能ならそれらの容器を火災区域から移動させること。炎にさらされた容器は消火後も十分な時間冷却し続けること。
消火を行う者を保護するための特別な保護具	陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。消防士の衣類は化学物質に対して基本レベルの保護を提供する。

6：漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 特定の推奨事項はない。個人保護具については、項目8を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 排水管または水路あるいは地表への放出を防止すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 可能ならば製品を再使用または再利用すること。可能なら、流出物をシャベルとほうき、または同様の用具で回収して再利用すること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。汚染された区域を多量の水で洗い流すこと。流出物の取扱い後は十分洗うこと。国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

他の項目の参照

他の項目の参照 個人保護具については、項目8を参照。廃棄物の廃棄処理については、項目13を参照。

7：取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 製造業者から提供される推奨事項を読みこれに従うこと。この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。使用しないときは容器を厳重に密閉しておくこと。

職業衛生全般に関する助言 皮膚が汚染された場合は直ちに洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 混触危険物質 (項目10を参照) から遠ざけて保管すること。特定の推奨事項はない。

保管クラス 特定されていない物質の保管。

特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

Reference to other sections. 混触危険物質 (項目10を参照) から遠ざけて保管すること。

8：ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

職業ばく露限界値

Additional Occupational Exposure Limits

ばく露防止

ESD Cleaning Wipe, PRESAT

適切な設備対策	特定の換気装置は必要でない。
眼 / 顔面の保護	通常の使用においては特別な眼の保護は必要とされない。大規模流出：リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。
手の保護	推奨される特定の手の保護はない。大規模流出：保護手袋を着用すること。
衛生措置	使用後および食事、喫煙ならびにトイレの使用前に洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
呼吸器の保護	特定の推奨事項はない。適切に換気すること。大規模流出：換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。
環境ばく露の防止	環境に危険であるとは考えられない。

9：物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

色	紫色。
臭い	花の臭い。
pH	7.0 - 7.5
融点	情報得られず。
初留点及び沸騰範囲	100°C/212°F @ unspecified kPa
引火点	> 100°C/212°F
蒸発速度	< 1 (酢酸ブチル = 1)
蒸発係数	情報得られず。
燃焼性 (固体、気体)	情報得られず。データ無し。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	該当しない。
その他の燃焼性	情報得られず。
蒸気圧	2.40 kPa @ unspecified°C
蒸気密度	該当しない。
相対密度	1 @ unspecified°C
バルク密度	該当しない。
分配係数	情報得られず。
自己発火温度	情報得られず。
分解温度	情報得られず。
粘度	情報得られず。
爆発特性	情報得られず。
屈折率	情報得られず。
粒径	該当しない。
分子量	情報得られず。
揮発性	情報得られず。

ESD Cleaning Wipe, PRESAT

飽和濃度	情報得られず。
臨界温度	情報得られず。
揮発性有機化合物	情報得られず。
UDF Phrase 1	製品は可燃性/引火性でない。

10 : 安定性及び反応性

反応性	詳しくはこのセクションの他のサブセクションを参照のこと。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。規定された保管条件下では安定。
危険有害性反応危険性	危険有害性反応の可能性は知られていない。
避けるべき条件	危険有害性状態をもたらす可能性のある条件は知られていない。
混触危険物質	製品と反応して危険有害性状況を生じる可能性のある特定の物質または物質群は無い。
危険有害な分解生成物	推奨事項に従って使用および保管した場合には分解しない。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：有害なガスまたは蒸気。

11 : 有害性情報

<u>有害性情報</u>	
<u>毒学的影響</u>	現在の法律では健康に対して危険有害性とはみなされない。
<u>急性毒性 - 経口</u> 備考 (経口LD ₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>急性毒性 - 経皮</u> 備考 (経皮LD ₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>急性毒性 - 吸入</u> 備考 (吸入LC ₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>皮膚腐食性 / 刺激性</u> 動物データ	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性</u> 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>呼吸器感作性</u> 呼吸器感作性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>皮膚感作性</u> 皮膚感作性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>生殖細胞変異原性</u> 遺伝毒性 - in vitro	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>発がん性</u> 発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
IARC発がん性	どの成分も記載されておらず免除もされていない。
<u>生殖毒性</u>	

ESD Cleaning Wipe, PRESAT

生殖毒性 - 生殖能	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
生殖毒性 - 発生	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>特定標的臓器毒性 - 単回ばく露</u>	
特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回ばく露	単回暴露後の特定標的臓器毒性には分類されない。
<u>特定標的臓器毒性 - 反復ばく露</u>	
特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露	反復暴露後の特定標的臓器毒性物質に分類されない。
<u>吸引性呼吸器有害性</u>	
吸引性呼吸器有害性	関連しない。固体。
<u>一般情報</u>	
一般情報	特有の危険有害性は知られていない。記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。
吸入	特定の症状は知られていない。
経口摂取	特定の症状は知られていない。飲み込むと不快感を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	長期にわたり接触すると皮膚の乾燥を引き起こすおそれがある。
眼接触	特定の症状は知られていない。眼をわずかに刺激するおそれがある。
ばく露経路	経口摂取 吸入 皮膚および/または眼との接触
標的臓器	特有の特定標的臓器は知られていない。

12: 環境影響情報

生態毒性	環境に危険であるとは考えられない。しかしながら、大量または頻繁な流出は環境に対して危険有害性影響を及ぼすおそれがある。
毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
<u>残留性・分解性</u>	
残留性・分解性	製品の分解性は未知である。
<u>生体蓄積性</u>	
生体蓄積性	生体蓄積性について利用可能なデータ無し。
分配係数	情報得られず。
<u>土壤中の移動性</u>	
移動性	データなし。
<u>他の有害影響</u>	
他の有害影響	知られていない。

13: 廃棄上の注意

廃棄上の注意

一般情報	廃棄物の生成を最小限に抑えるか可能であれば避けなければならない。可能ならば製品を再使用または再利用すること。この物質および容器は安全な方法で廃棄する。
------	---

ESD Cleaning Wipe, PRESAT

廃棄方法

余剰製品および再利用できない製品は認可を受けた廃棄物処理請負業者を介して廃棄すること。廃棄する包装は回収して再使用または再利用しなければならない。焼却または埋め立ては再利用が不可能な場合にのみ検討すること。現地の水道局の規定に完全に適合している場合を除き廃棄物を無処理で下水道に廃棄してはならない。

14: 輸送上の注意

一般事項

製品は危険物の輸送に関する国際規則 (IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送) の適用範囲に含まれない。

国連番号

該当しない。

品名 (国連輸送名)

該当しない。

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

輸送警告標識は要求されない。

容器等級

該当しない。

海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質

該当せず。

使用者のための特別予防措置

該当しない。

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送 該当しない。

15: 適用法令

インベントリー

米国 (TSCA) 12(b)

該当しない。

日本 (化審法)

どの成分も記載されておらず免除もされていない。

16: その他の情報

訓練に関する助言

訓練を受けた人員のみがこの物質を使用すること。

改訂に関する注釈

備考: 余白中の線は以前の版からの重大な変更を示している。

改訂日

2018/10/19

改訂版

32

更新日

2018/02/23

SDS番号

PRESAT - EC00W

SDSの現状

承認済み。

ESD Cleaning Wipe, PRESAT

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。